

活動報告書

July
2008

描定二刃

講師 中村好文



GSDy 描き初め 2008

即日設計会+公開講評会

■ 日時

2008年1月16日(水)

9:00 - 18:00 即日設計会

18:00 - 21:00 公開講評会

■ 会場

東京大学 生産技術研究所 As 棟 4 階

■ 講師

中村 好文 (建築家、日本大学教授)

■ はじめに

本設計会は3人1組のグループワークを前提とする。決められたグループのメンバーと協力し、お互いの能力を活かしながら設計を行う。

■ 課題

「自分(たち)にとって大切なモノ、または、好きなモノを展示する空間、または装置を設計しなさい」

■ 設計条件

- ・展示する「モノ」は無機的なモノとする。
- ・展示する「モノ」のサイズは、縦・横・高さがそれぞれ3メートル以内とする
- ・場所性を考慮し、展示効果に留意すること。

■ 敷地

井の頭恩賜公園内の「ここぞ!」と思われる場所

■ プレゼンテーションの方法

各班 プレゼンテーション4分、講師による質疑2分とする。

Power point を用い、以下の項目を盛り込んで、設計意図と内容を過不足なく表現する。

- ・展示物(何を展示するのか?)
- ・展示場所説明用の写真(5枚以内)
- ・場所を選定した5つの理由を箇条書きで
- ・展示効果を表現するコラージュ写真
(コラージュ写真用に 模型/縮尺自由 の製作は必須作業となる)
- ・その他の表現方法は自由

■ 審査

1位～3位と、中村賞、オーディエンス賞を決める。(各賞とも賞品有り)

- ・順位：講師と参加者の投票によって決定する
- ・中村賞：講師が任意に決定する
- ・オーディエンス賞：観客が最も多く支持した作品に与える

■タイムスケジュール

□即日設計会

- 9:00 集合 (JR 吉祥寺駅)
9:30 井の頭恩賜公園到着
課題説明、グループ分け発表
10:00 自由行動、設計開始
以降、各班自由行動とする。
休憩、昼食等は各自自由にとること。
17:00 Power point データ提出
17:30 作業完全終了、片付け
17:50 講評会会場へ

□公開講評会

- 17:30 開場
18:00 挨拶
課題説明
講師より一言
18:10 プレゼンテーション
各班 プレゼンテーション 4分+講師による質疑 2分
この段階では講師からの質問のみとする。
19:10 一次投票
各班、自分の班以外で気に入った班を 3つ選んで投票する。
19:15 開票
この時点で暫定的な順位が出るが、この結果は最終順位に影響しない。
19:25 ディスカッション
講師の進行のもと、ディスカッションを行う。
各班について約 5分ずつ議論する。
参加者、オーディエンスからの質問も受け付ける。
20:25 最終投票
各班、自分の班以外で 1～3位を選び、投票する。
票数は以下の通り
参加者：1位 3票 2位 2票 3位 1票
講師：1位 6票 2位 4票 3位 2票
20:30 開票、結果発表
1位～3位、中村賞、オーディエンス賞を決定する。
20:50 講師による総評
21:00 終了
21:10 懇親会開始
22:30 解散

■配布資料

- ・本冊子
- ・井の頭恩賜公園 平面図（縮尺 1/1000）
- ・井の頭恩賜公園 概要説明書

■こちらで用意したもの

（各班に以下の物を用意しております）

□ 道具

- ・カッターマット A1 サイズ…………… 1 枚
- ・定規（1m と 60cm）…………… 1 本
- ・スチのり 100ml ……………… 2 本
- ・ドラフティングテープ…………… 1 個
- ・スプレーのり（55 と 77）…………… 各 3 本を共有
- ・A3 プリンタ…………… 1 台を共有

□ 模型材料

- ・ダンボール 2mm、5mm、8mm A1 サイズ 各 4 枚
- ・カスミソウ…………… 1 束
- ・ケント紙 白と黒…………… 各 1 枚
- ・プラ板（5 枚入）…………… 1 袋

■緊急連絡先

永山：090-6896-7666

■名簿+グループ分け

班	名前	所属	学年
A	高柳 誠也	東京大学 理科一類	B2
	照井 丈大	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻	M2
	渡辺 美紀	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境システム工学系専攻 都市基盤工学研究室	M1
B	権藤 裕子	福岡大学大学院 工学研究科 建設工学専攻 趙研究室	M1
	佐多 祐一	東京大学 工学部 社会基盤学科	B3
	望月 容平	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 村松研究室	M2
C	岩根 敬子	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 村松研究室	M1
	大野 暁彦	千葉大学大学院 園芸学研究科庭園デザイン学 三谷徹研究室	M1
	倉掛 健寛	福岡大学大学院 工学研究科 建設工学専攻 黒瀬研究室	M1
D	加門 麻耶	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 村松研究室	M1
	中村 晋一郎	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 沖・鼎研究室	M2
	ラ ジュン	徳島大学 先端技術科学教育部 建設工学科 知的力学システム専攻	M1
E	篠原 明理	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 藤森研究室	M1
	添田 信行	早稲田大学大学院 創造理工学研究科 建設工学専攻 景観・デザイン研究室	M1
	土井 真樹	徳島大学大学院 人間・自然環境研究科 人間環境専攻 デジタルイメージング研究室	M2
F	安藤 祐子	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 藤井明研究室	M1
	高野 裕作	早稲田大学大学院 創造理工学研究科 建設工学専攻 景観・デザイン研究室	M1
	パンノイ ナッタ ポン	東京大学大学院 都市工学専攻 都市デザイン研究室	M1
G	林 盛	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 難波和彦研究室	M1
	松本 亮	横浜国立大 土木工学科	B4
	山田 渚	東京大学大学院 都市工学専攻 都市デザイン研究室	M1
H	石川 康広	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 藤森研究室	M1
	下田 明宏	フリー	
	田部井 友葵	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境システム工学系専攻 環境制御システムコース 都市基盤工学研究室	M1
I	大藪 善久	東京大学 工学部 社会基盤学科 景観研究室	B4
	脇本 夏子	日本女子大学 住居学科 建築環境デザイン専攻	B3

■参加者アンケート

1. きっかけ：『GSDy 描き初め』をどこで知り、どうして参加しようと思ったか
2. 感想：今回の感想
3. GSDy への要望：運営の問題点や改善点、意見等

倉掛 健寛(福岡大学大学院 工学研究科 建設工学専攻)

1. 中村好文先生に興味があり、会ってみたいと思っていたことと即日設計、GS（友達が参加していた）に興味があったからです。

2. 当日は非常に濃い一日を過ごさせて顶けました。

違う分野の方とも意見を交換して、1つの案に向かっていったことを大変有意義に感じます。有り難うございました。

その後も何人かとメールで連絡しました。

このような繋がりを今後も大切にしたいと思っております。

3. 1日であれだけの事をやるということに

大変な準備と当日の作業があったとも思います。

お疲れさまでした。そして有り難うございました。

〈イベント性に関して〉

年初めのイベントとしての「描き初め」。

今後も大変期待できるものと思います。

欲をいうと参加者だけであの会が終わるのはもったいないと思うし、客観的な意見も聞きたいので参加者以外のギャラリーが欲しいです。

是非、今後も続けて下さい。

ラ ジュン(徳島大学 建設工学科 知的力学システム専攻)

1. 学校内、工学部に貼ってるポスターを見て、設計関係の内容に興味あるから参加しようと思った。正直、応募者は沢山いると思ったので、参加のお知らせ来てくれた時ビックリ。

2. (日本語的におかしい所があるかもしれませんが)

成功なイベントだと思う。

個人的に、思い切りやってなかったことには一番悔しいと感じる。相当ショックだった、二日目まで回復(笑)。実力のほかに、うちのグループは最後まで意見統合しなかったことは一部の敗因だと思います。グループで、初対面の人との付き合い、交渉などの面で自分の不足を意識した。「自分の意見を言うだけではない、相手を説得するのがもっと大事」ということだ。

これから、建築、設計の知識はもっと勉強したいです。(ほかのメンバーはすごく建築家および作品に詳しいけど、私ほとんど知らなかった)。

3. もっとイベントに参加したいけど、四月に帰国するのでなかなかできない。また日本にくるかもしれませんが、ぜひご連絡をおねがいします。

参加させていただくこと再びにありがとうございました。

渡辺美紀(埼玉大学大学院 理工学研究科
環境システム工学系専攻 都市基盤工学研究室)

1. 以前から興味を持っていましたが、同じ研究室で、会員の阿藤さんと長岡さんから描き初めの存在を教えてもらったことがきっかけです。

2. 今回の参加で、同じような人に囲まれて日々生活していると、どうしても狭い考えに陥るということを再認識できました。分野によって考えるときのアプローチが全然違っていたことが、とてもおもしろかったです。

設計をあまりしたことがないので、やり方に関しては意見は特にはないです。成績がそんなに良くなって悔しい思いをしたのでぜひまた来たいと思いました。

懇親会も楽しかったです。自己紹介を聞いてよかったです。せつかなので、最初集まったときに簡単な自己紹介をするというのも、全体のまとまりがでそうなのでよいのではないかと、個人的に思いました(時間の関係上難しかったのかもしれませんが)。

3. ちょっとまだよくわかりませんでした。

高柳 誠也(東京大学 理科一類)

1. ポスターを見て(なぜか建築学科の方ではなく社基の掲示板で)

2. 即日設計ということで短時間で案をまとめていくことの大変さを感じました。その中でも、いろいろ議論を深めていくことで考え方の幅を広げることができました。

3. このような機会をまた設けてほしいです。そして、入会しようと思います。

篠原 明理(東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
藤森研究室)

1. 研究室のメーリングリストでお知らせを頂きました。即日設計、workshopに興味を持ち、中村好文さんもこられるということで。

2. 多分野の方との製作がとても新鮮で、大事なものだと感じました

また、講評に時間を多く取れたことも、とても充実した内容になっていい経験ができました

3. これからも頑張ってください

大藪 善久(東京大学 工学部 社会基盤学科 景観研究室)

1. GSのメールで見つけました。

2. 初めて、即日設計に参加してとっても有意義な体験ができました。

一日で形にするのはとっても難しいということが実感出来ました。僕の班は二人だったんですが、雰囲気よく楽しくできてよかったと思います。

3. 課題の説明がもっとあったほうがよかったと思います。

土井 真樹(徳島大学大学院 人間・自然環境研究科
人間環境専攻 デジタルイメージング研究室)

1. 大学の建設工学棟内の掲示板にポスターがあり、それをみた友人に紹介されて興味をもった。

理由は、最近 lighting に興味があり、その流れで建造物にも興味を持っていたこと、また、他学部、他学科の人と交流をして様々な見方・考え方を得ること、を重要だと感じていることもあった。

はじめは専門外で不安なのと、人数制限があるから専門の学生が行くべきだと思い、行くつもりはなかった。空きがあるらしいと聞き、また、模型制作ということである程度できそうだったので応募した。

2. 大変楽しく、有意義な一日だった。

グループで行動するなかで、建築・建設などお互いの分野にない視点・思考法を知ること考えが広がった。

模型制作は、グループ内や他のグループの人たちのそれぞれの作業が垣間見えてよかった。作業のスタイルや技術的なことなど勉強になった。

プレゼンでの作品表現の提示をうけて、ディスカッションで思想→表現の思考回路の共有とそれに対する意見交換等、全体が、作品を理解しやすいながれでよかった。

先生の話し方・考え方など参考になった。尊敬する先生が増えた。

3. サイトの更新があるていど定期的にあるほうが安心する。あと、グループ分けの偶然がちょっとうれしかった。

テーマ設定は、問題点はわかっているので次回からは大丈夫でしょう。

脇本 夏子(日本女子大学 住居学科
建築環境デザイン専攻)

1. メーリスで。時間があつたのでよい機会だと思ったため。

2. 最初のコンセプトを途中でまげずに発展させてればよかったかもしれないです。そうすれば主旨と違ってもっと反論もできたけれど、途中で「え！？モノじゃなきゃだめなの！？」って急に違う方に方向転換してしまったので自分でも自分たちのをはっきり弁護できなくなっていました。経験値をもっと上げないとなあと思いました。

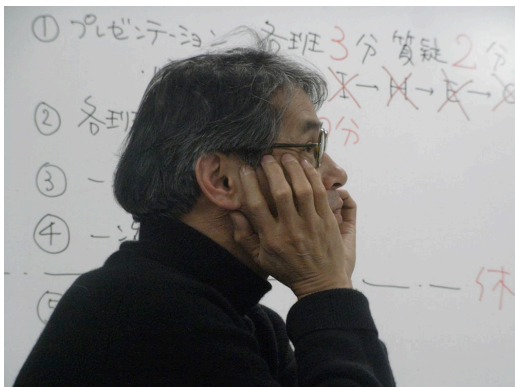
反省を改善したいと思います。

3. またよろしくお願いします。

■ photos









■運営 STAFF

島津翔
伊藤啓輔
永山悟

■当日 STAFF

泉知行
前田翔三
大橋良乃介

2008年3月1日